

基本的な取り組み

職員向け ①いじめ防止検討会議…5月・7月・12月および必要に応じて随時開催(管理職・総括教諭・養護教諭・教育相談Co・臨床心理士、他)。
②いじめ防止研修…年2回以上開催。相談支援係・学部と連携して開催。

生徒向け ①各行事・授業内で、自己理解、自己表現、コミュニケーション(人間関係)や自己有用感等にかかわる指導。
②「生活振り返りアンケート」…6月・11月実施。高等部(本校・分教室)対象。

月	活動	担当	未然防止の取組			早期発見の取組	早期対応の取組	PDCAサイクル
			行事	授業・学級活動・学年活動	生徒会活動			
1 学期	入学式・始業式	学事係	自己有用感の育成	自己紹介 相談窓口の紹介				
	学部懇談会	各学部	学校生活での取り組みの説明			相談窓口の周知		
	新入生歓迎会	各学部		自己表現の機会(自己紹介)	生徒による企画・運営で、生徒の自主性及び自己有用感を育む			
	配慮を要する児童生徒連絡会	学習支援係・担任等	特に配慮を要する児童生徒の状況を共通理解					
	第1回いじめ防止検討会議	いじめ防止検討会議						今年度計画と基本方針、学校目標・教育目標への反映
	個別面談	担任等				家庭での状況確認・保護者の思いを聞く	情報の内容に応じて対応	
	現場実習	進路支援係・担任等		自己理解、自己有用感、コミュニケーション能力の育成				
	東陵祭体育の部(生田東分教室) 北斗祭体育の部(川崎北分教室) 第1回生活振り返りアンケート	各分教室 学習支援係・担任等	各高校との交流	集団の中での役割分担、好ましい人間関係の育成、自己有用感の育成			生徒の生活状況、心境などの把握	アンケート結果に基づく対応
第2回いじめ防止検討会議	いじめ防止検討会議				生活振り返りアンケートの回答内容検討		いじめ防止の取組みの検証・見直し	
7	学部集会	各学部		自己表現の機会	生徒による企画・運営で、生徒の自主性及び自己有用感を育む			
	終業式	学事係	いじめ防止に関する管理職講話					
8	いじめ防止研修会	学習支援係・相談支援係				教職員の人権に対する意識醸成		いじめ防止の取組みの検証・見直し
	人権研修会	総括教諭・学部等				教職員の人権に対する意識醸成	外部講師による講話	
2 学期	始業式	学事係	いじめ防止に関する管理職講話					
	個別面談	担任等				家庭での状況確認・保護者の思いを聞く	情報の内容に応じて対応	
	東陵祭文化の部(生田東分教室) 北斗祭文化の部(川崎北分教室)	各分教室	各高校との交流	役割を担うことによる自己有用感の育成、好ましい人間関係の育成				
	現場実習	進路支援係・担任等	自己有用感の育成 コミュニケーション能力の育成					
	学習発表会	全校行事委員会・担任等		役割を担うことによる自己有用感の育成、好ましい人間関係の育成	生徒の自主性を育む 自己肯定感を育む			
	第2回生活振り返りアンケート	学習支援係・担任等				生徒の生活状況、心境などの把握	アンケート結果に基づく対応	
12	学部集会	各学部		自己表現の機会	生徒による企画・運営で、生徒の自主性及び自己有用感を育む			
	第3回いじめ防止検討会議	いじめ防止検討会議				生活振り返りアンケートの回答内容検討		
	終業式	学事係	いじめ防止に関する管理職講話					
	1	始業式	学事係	いじめ防止に関する管理職講話				
3 学期	入学説明会	総括教諭・学部等	学校生活での取組みの説明					
	個別面談	担任等				家庭での状況確認・保護者の思いを聞く	情報の内容に応じて対応	
	たかつマルシェ	全校行事委員会・学部等		役割を担うことによる自己有用感の育成、好ましい人間関係の育成				
3	卒業生を送る会	各学部			生徒による企画・運営で、生徒の自主性及び自己有用感を育む			
	卒業式	学事係	自己有用感の育成					
	修了式	学事係	いじめ防止に関する管理職講話					
	いじめ防止研修会(報告会)	学習支援係・相談支援係				教職員のいじめ認知に関する意識醸成	アンケート結果に基づく対応	
その他	修学旅行・遠足・宿泊学習等	各学部・学年・担任等	他者との協力・協働を通じた人間づくり	役割を担うことによる自己有用感の育成、好ましい人間関係の育成、経験の共有				
	校外学習	各学部・学年・担任等		役割を担うことによる自己有用感の育成、好ましい人間関係の育成、経験の共有				
年間を通じた取組み	生徒会活動	生徒会担当			各委員会活動に向けての話し合い、当日の活動で生徒の自主性及び自己有用感を育む			
	SSE	各クラス		自己理解・他者理解、アンガーマネジメント、コミュニケーション能力の育成		生徒の実態、状況、心境などの把握 相談担当と生徒とのつながり		